

南房総市幼稚園・保育所等再編計画

平成23年10月

南房総市

南房総市教育委員会

《 目 次 》

第1章 計画の策定	
1-1 計画策定の背景	2
1-2 計画の期間	2
第2章 就学前児童の状況	
2-1 就学前児童数と幼稚園・保育所園児数の推移	3
2-2 就学前児童数の予測	4
2-3 平成27年度の幼稚園・保育所園児数見込み	4・5
第3章 幼稚園・保育所の現況と課題	
3-1 幼稚園・保育所の設置状況	6
3-2 幼稚園・保育所の施設	7
3-3 幼稚園・保育所の園児数	8
3-4 幼稚園・保育所の年齢別入所状況	9
3-5 幼稚園の保育年数及び保育時間等	9
3-6 学童保育・預かり保育の利用状況	10
3-7 事業運営費	11
3-8 地域における子育て支援	11
第4章 幼稚園・保育所のあり方	
4-1 「幼・保のあり方」に係る基本的考え方	12
4-2 めざすべき基本方向	12
4-3 基本方向を実現するための方策	12～14
4-4 適正配置の考え方	15
4-5 幼稚園・保育所の再編	15～17
4-6 幼稚園・保育所の再編案具体化の年次計画	18

第1章 計画の策定

1 計画策定の背景

南房総市においては、合併前の旧町村から幼稚園・保育所児童の受け入れ体制等について、さまざまな運用がなされてきており、合併後5年を経過した現在も統一はされていない。

また、幼稚園・保育所のいずれも就学前の子どもを預かる施設でありながら、学校教育法に基づく教育施設としての幼稚園と児童福祉法に基づく児童福祉施設としての保育所は、それぞれの法律でその目的や役割が異なっていることと、文部科学省と厚生労働省という所管を異にするために、これまで幼稚園と保育所の連携や交流などは非常に困難となっていた。

本市においては現在、幼稚園13施設（公立13）保育所10施設（公立6・私立4）の計23施設が設置されているが、施設の中には老朽化が著しいため、児童・園児の安全面の確保が困難であったり、児童・園児数の減少によって教育・保育のための望ましい集団活動が実践できる環境の提供が困難であったりといった施設も少なくなく、本市の喫緊の課題となっている。

一方、保護者等からは、核家族化や共働き家庭の増加などによる就労支援のための子育て支援対策や多様化する保育ニーズへの対応が、ますます求められている。

乳幼児期は子どもが健やかに育つための大切な時期であり、本市における就学前の子どもたちが健やかに育つ環境として幼稚園・保育所がどうあるべきか、また、現在の子育て環境が生み出している育児不安をどのように支え、どのようにその負担を軽減していくかという視点から市内の幼稚園・保育所のあり方を今一度見直す必要もある。

以上の理由により、今後の南房総市の幼稚園と保育所のあり方を総合的に検討し、良いかたちで統廃合や幼保一体化を進めていくため、平成21年度において公立保育所再編と学童保育所のあり方に関する検討を行い、平成22年度においては、教育委員会事務局と保健福祉部の両担当課を中心に庁内関係各課により、南房総市の就学前児童の教育・保育のあり方について検討・協議を重ねてきた。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度から平成27年度の5年間とする。

ただし、社会経済情勢の変化、保護者や地域の保育ニーズ等の動向を踏まえ、事業目標の再設定、計画推進方法の再確認を行う。

第2章 就学前児童の状況

1 就学前児童数と幼稚園・保育所園児数の推移

本市の就学前児童数（0歳から小学校入学前までの人数）は、平成19年度は、1,572人であったが、平成23年度は1,362人となり4年間に210人減少している。

幼稚園の園児数をみると、平成19年度516人、平成23年度451人で65人減少している。一方、保育所の園児数は、平成19年度の273人から平成23年度は337人と64人増加し、近年の全国的な女性の就業率の増加に伴い、本市においても保育所への入所率が高くなってきている。

幼稚園・保育所の園児数推移 平成23年度

年度	H19	H20	H21	H22	H23	増減 (H23-H19)	割合 (H23/H19)
就学前児童数	1,572	1,564	1,487	1,413	1,362	△ 210	86.6
幼稚園	516	519	493	469	451	△ 65	87.4
保育所	273	284	274	330	337	64	123.4
合計	789	803	767	799	788	△ 1	99.9

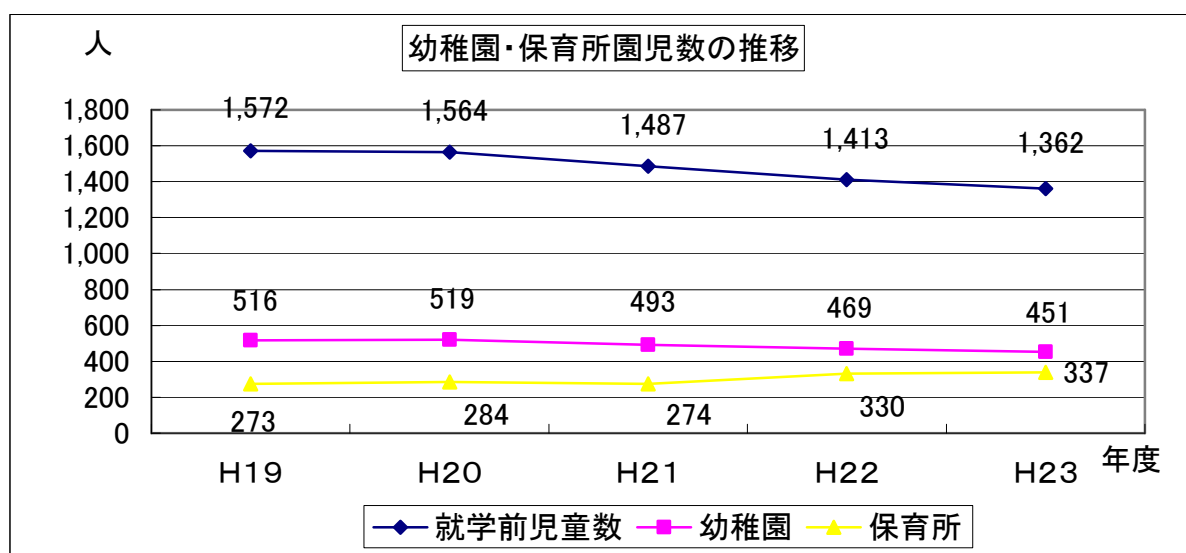
(単位:人)

資料:南房総市次世代育成支援後期行動計画

就学前人口は各年5月1日現在の住民基本台帳人口

幼稚園園児数は各年5月1日現在

保育所園児数は各年4月1日現在



2 就学前児童数の予測

平成29年までの本市における総人口の見込みは、【表1】のとおりで、就学前児童数は、【表2】のとおりであり、本市の就学前児童人口は、急激に減少していくことが予測される。

【表1】将来推計人口 平成23年度

(単位:人)

		H17年 (2005年)	H24年 (2012年)	H29年 (2017年)
総人口		44,763	41,200	38,400
年齢別 人口	年少人口(15歳未満)	4,831	4,000	3,400
	生産年齢人口(15~64歳)	24,866	20,900	17,800
	老年人口(65歳以上)	15,066	16,300	17,200

資料:南房総市総合計画

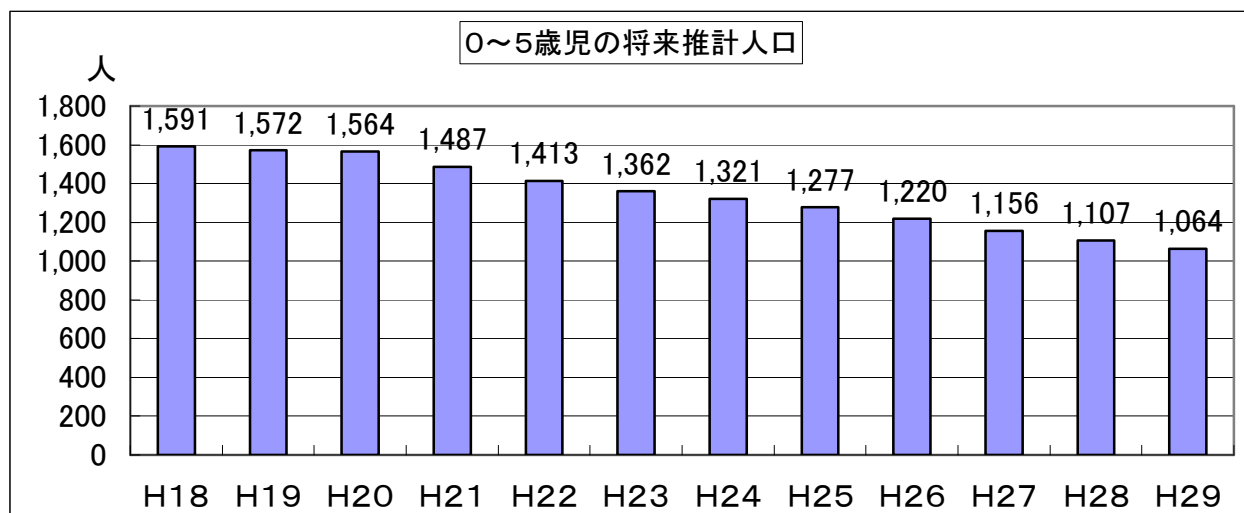
※平成17年は国勢調査による実績値、平成24・29年は推計値

【表2】就学前児童人口の推移と推計 平成23年度

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0歳~5歳	1,591	1,572	1,564	1,487	1,413	1,362	1,321	1,277	1,220	1,156	1,107	1,064

資料:南房総市次世代育成支援後期行動計画



3 平成27年度の幼稚園・保育所園児数見込み

平成27年度の幼稚園と保育所の園児見込数を推計すると幼稚園児は平成27年度で406人となり、平成23年度の451人に比べて45人減少する。

また、保育所については平成23年度の園児数は352人、平成27年度見込数は304人と48人の減少で、園児数全体では横ばいだが、園別にみると減少傾向にある保育所が多くなっている。

本市の将来推計人口を考慮すると、平成27年度以降においても幼稚園・保育所園児数は、さらに減少することが予想される。

平成27年度幼稚園・保育所園児数見込

地域	小学校就学前児童数 (H27推計)			H23年度園児数(H23.4.1現在)									H27年度園児数(推計)								
				幼稚園			保育所			幼稚園			保育所								
	0~3歳	4~5歳	計	園名	4~5歳	計	園名	0~3歳	4~5歳	計	園名	4~5歳	計	園名	0~3歳	4~5歳	計				
富浦	111	65	176	富浦幼稚園	68	68	富浦保育所	26		26	富浦幼稚園	65	65	富浦保育所	39		39				
富山	97	60	157	岩井幼稚園	24	24	白鳩保育園	36	22	58	富山幼稚園	41	41	白鳩保育園	24	19	43				
				平群幼稚園	28	28	平群保育所	20		20				平群保育所	10		10				
三芳	88	52	140	三芳幼稚園	63	63	三芳保育所	43	1	44	三芳幼稚園	52	52	三芳保育所	31		31				
白浜	94	53	147	白浜幼稚園	25	25	白浜保育園	24	7	31	白浜幼稚園	33	33	白浜保育園	22	12	34				
							白浜東部保育園	11	7	18				白浜東部保育園	11	8	19				
千倉	198	113	311	健田幼稚園	63	63	ちくら保育所	54	1	55	健田幼稚園	52	52	ちくら保育所	48		48				
				朝夷幼稚園	34	34	ゆうひが丘保育園	20		20	朝夷幼稚園	31	31	ゆうひが丘保育園	21		21				
				忽戸幼稚園	6	6					忽戸幼稚園	17	17								
				七浦幼稚園	14	14					七浦幼稚園	13	13								
丸山	93	54	147	南幼稚園	41	41	丸山保育所	39		39	南幼稚園	37	37	丸山保育所	33		33				
				丸幼稚園	24	24					丸幼稚園	17	17								
和田	74	48	122	和田幼稚園	20	20	和田保育所	39		39	和田幼稚園	17	17	和田保育所	26		26				
				南三原幼稚園	41	41					南三原幼稚園	31	31								
計	755	445	1,200		451	451		312	38	350		406	406		265	39	304				

公立幼稚園

公立保育所

私立保育園

第3章 幼稚園・保育所の現況と課題

1 幼稚園・保育所の設置状況

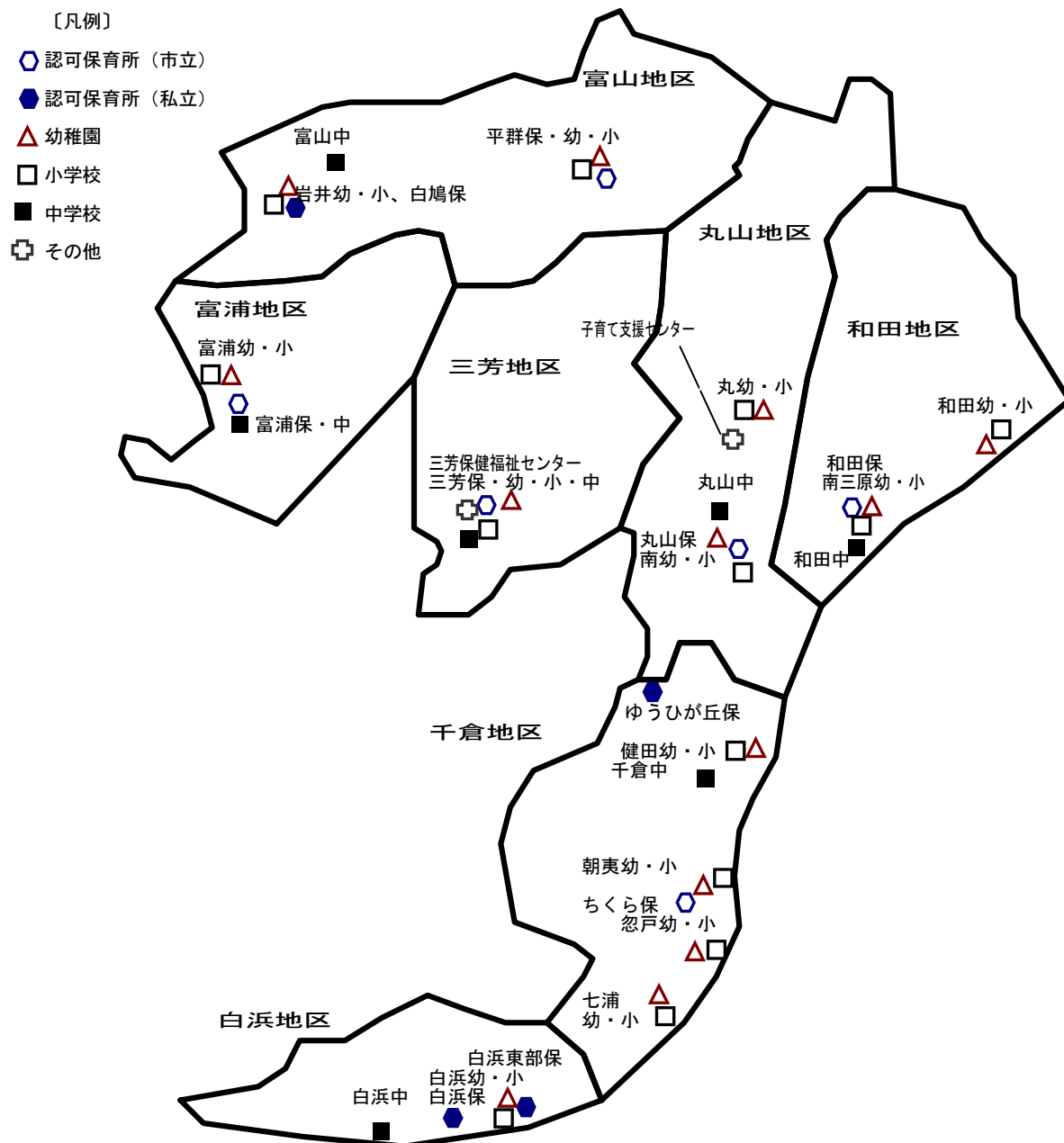
市内には、幼稚園は公立のみ13園が設置されている。公立幼稚園のうち独立幼稚園は2園、小学校との併設幼稚園は11園となっています。

保育所については、公立が6園と私立が4園の合計10園が設置されている。

設置状況を合併前の旧町村を地域に分けて見てみると、全ての地域において幼稚園保育所の両方が設置されている。

幼稚園・保育所の設置状況

(H23.4.1現在)



2 幼稚園・保育所の施設

幼稚園舎は、比較的新しい健田幼稚園（H21 建築）、南幼稚園（H18 建築）、七浦幼稚園（H14 建築）もあるが、築後20年以上の園舎が多くを占めており、老朽化の進む園舎は改築等の検討が必要となっている。

保育所の園舎については、比較的新しいちくら保育所（H13 建築）もあるが、老朽化が著しい園舎もあり、改築等の検討が必要となっている。

公立幼稚園施設の状況

平成23年度現在

施設名	構造	建築年度		建築時からの 経過年数
富浦幼稚園	鉄骨造	S57		29
岩井幼稚園	鉄筋コンクリート造	S55	H2遊戯室	31
平群幼稚園	鉄筋コンクリート造	S54	S48遊戯室	32
三芳幼稚園	鉄骨造	S39	H4大規模改造	47
白浜幼稚園	鉄筋コンクリート造	S53	H20大規模改造	33
七浦幼稚園	鉄筋コンクリート造	H14		9
忽戸幼稚園	鉄筋コンクリート造	S53	H22忽戸小学校内へ	33
朝夷幼稚園	鉄骨造	S55		31
健田幼稚園	鉄筋コンクリート造	H21		2
南幼稚園	木造	H18		5
丸幼稚園	木造	H5		18
和田幼稚園	鉄骨造	S59		27
南三原幼稚園	鉄骨造	S58		28

資料：南房総市教育総務課

公立保育所施設の状況

平成23年度現在

施設名	構造	建築年度		建築時からの 経過年数
富浦保育所	鉄筋コンクリート造	H5		18
平群保育所	鉄筋コンクリート造	S55		31
三芳保育所	鉄筋コンクリート造	S58		28
ちくら保育所	木造	H13		10
丸山保育所	鉄骨造	S57		29
和田保育所	鉄筋コンクリート造	S57		29

資料：南房総市子育て支援課

私立保育園施設の状況

平成23年度現在

施設名	構造	建築年度		建築時からの 経過年数
白鳩保育園	鉄筋コンクリート造	S49	H22耐震補強工事	37
白浜保育園	木造	S30		56
白浜東部保育園	木造	S21		65
ゆうひが丘保育園	木造	H22	改築	1

資料：南房総市子育て支援課

3 幼稚園・保育所の園児数

南房総市における公立幼稚園では、1クラス10人に満たない状況にある園が4園あり、他の幼稚園や保育所、小学校との交流が行われているものの、日常的な集団生活を通じての多様な経験が得にくく、教育・保育への不安がある。

小規模な集団は、保育者の目が一人ひとりの子どもに行き届き、きめ細やかに指導できるが、一方では、子ども同士が切磋琢磨し刺激し合う機会が少なく、自主性やたくましさが育ちにくい、友達関係が固定化する、ルールのある集団遊びができない等が指摘されており、集団規模が小さくなるほどその傾向は顕著になるという課題もある。

幼稚園の定員（1クラスの定員35人に保育室数を乗じた人数）に対する園児数の割合は、公立13園の平均が3割程度となっている。

保育所の平成23年4月1日現在の定員に対する入所率の平均は、公立園が約6割、私立園が7割で、公立私立合わせて約6割だが、入所率が4割程度の園もあり、幼稚園と同じく、少人数で行う教育・保育への不安がある。

地域別幼稚園・保育所の設置状況及び園児数

地域	幼稚園園児数(H23.4.1現在)						保育所園児数(H23.4.1現在)									
	園名	定員	4歳	5歳	計	充足率	園名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	充足率
富浦	富浦	140	35	33	68	48.6	富浦	60	2	4	9	11	0	0	26	43.3
	岩井	70	9	15	24	34.3	白鳩	60	5	11	8	12	15	7	58	96.7
富山	平群	70	15	13	28	40.0	平群	40	5	2	6	7	0	0	20	50.0
	三芳	140	32	31	63	45.0	三芳	45	4	12	12	15	0	1	44	97.8
白浜	白浜	210	8	17	25	11.9	白浜	40	1	6	7	10	4	3	31	77.5
							白浜東部	20	1	2	5	3	4	3	18	90.0
千倉	健田	105	25	38	63	60.0	ちくら	90	3	14	14	23	1	0	55	61.1
	朝夷	140	11	23	34	24.3	ゆうひが丘	40	1	6	7	6	0	0	20	50.0
	忽戸	105	4	2	6	5.7										
	七浦	70	7	7	14	20.0										
丸山	南	70	18	23	41	58.6	丸山	50	6	12	7	14	0	0	39	78.0
	丸	70	13	11	24	34.3										
和田	和田	105	12	8	20	19.0	和田	50	3	13	11	12	0	0	39	78.0
	南三原	70	20	21	41	58.6										
総計		1,365	209	242	451	33.0		495	31	82	86	113	24	14	350	70.7

公立幼稚園
 13園 充足率 33.0%

公立保育所 6園 充足率 66.6%
 私立保育園 4園 " 79.4%
 計 10園 " 70.7%

4 幼稚園・保育所の年齢別入所状況

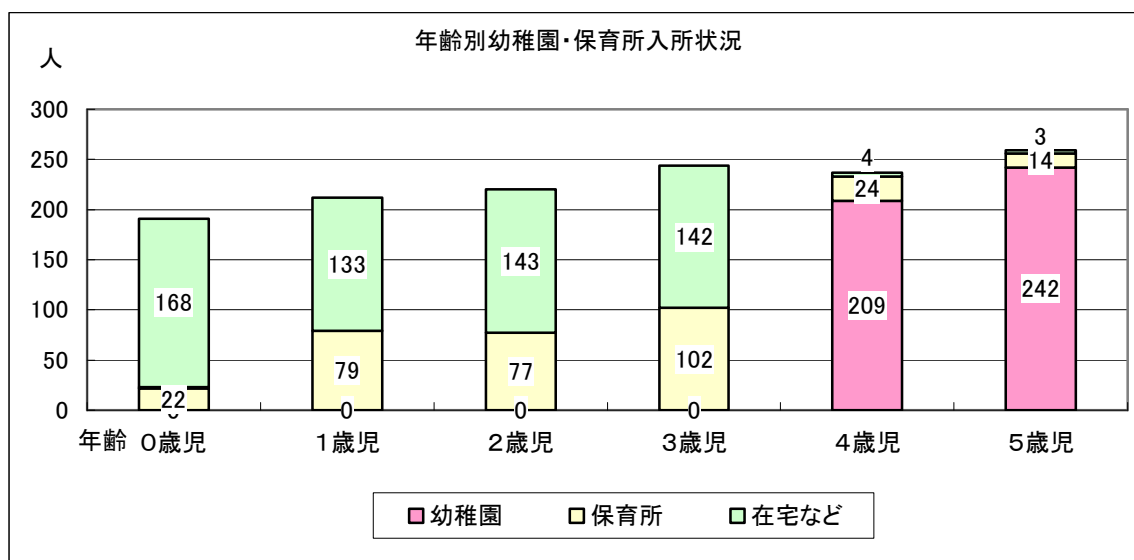
本市では、小学校に入学する前には幼稚園教育を受けさせたいという保護者意識が強く、3歳までは保育所に入所していても、4歳になると9割以上の児童が、預かり保育や学童保育を利用して幼稚園に入園する状況がある。このため【表】のように保育所の4～5歳児は極端に少なくなり、多くの保育所において、4～5歳児同年齢の集団生活の確保は困難な状態となっている。

年齢別幼稚園・保育所等入所状況

平成23年4月1日現在

項目	園数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
対象者数		190	212	220	244	237	259	1,362
幼稚園	13	-	-	-	-	209	242	451
保育所	10	22	79	77	102	24	14	318
在宅など		168	133	143	142	4	3	593

資料：南房総市



5 幼稚園の保育年数及び保育時間等

幼稚園の保育年数は、市内全幼稚園で4歳児からの2年保育が実施されている。

幼稚園の保育時間は、幼稚園教育要領で「幼稚園の1日の教育課程に係る教育時間は、4時間を標準とすること。」と定められている。

本市では、毎日14時までの園もあれば、15時までの園もあり園ごとに保育時間が設定されている。

その他に全幼稚園において、毎日学校給食が提供されている。

6 学童保育・預かり保育の利用状況

学童保育は、放課後留守家庭等の小学生を対象とした事業で、市内全小学校区の9箇所で開催されており、市内一部の地域を除く、ほぼ全ての学童保育所で放課後留守家庭の幼稚園児も対象となっている。

千倉地域の幼稚園4園については各幼稚園降園後、健田幼稚園で預かり保育を実施している。

平成22年度の幼稚園児の学童保育、預かり保育利用者数は、幼稚園児451人中213人(47.2%)であり、利用率は年々高くなっている。

幼稚園児の学童保育(預かり保育)利用状況

地域	幼稚園区	学童保育所名	開設場所	小学生児童数	幼稚園児数			23年度登録児童					
					4歳児	5歳児	計	利用者数	内訳				
									小学生	幼稚園			幼稚園児利用率
								4歳児	5歳児	計			
富浦	富浦	富浦	富浦幼稚園余裕保育室・遊戯室	238	35	33	68	29	13	13	3	16	23.5%
富山	岩井	岩井	白鳩保育園余裕保育室	154	9	15	24	33	33	0	0	0	0.0%
	平群	平群	平群保育所余裕保育室	61	15	13	28	32	16	8	8	16	57.1%
三芳	三芳	三芳	三芳学童保育所(専用施設)	210	32	31	63	61	34	14	13	27	42.9%
白浜	白浜		白浜保育園・白浜東部保育園(学童保育)	195	8	17	25	19	19	0	0	0	0.0%
千倉	健田	健田	・健田小学校余裕教室 ・健田幼稚園預かり保育室	201	25	38	63	67	25	15	27	42	66.7%
	朝夷			111	11	23	34	24	11	2	11	13	38.2%
	忽戸			66	4	2	6	8	4	4	0	4	66.7%
	七浦			67	7	7	14	10	7	0	3	3	21.4%
丸山	南	丸山	南小学校余裕教室	151	18	23	41	26	15	6	5	11	26.8%
	丸	うさぎ	丸幼稚園遊戯室	74	13	11	24	15	11	3	1	4	16.7%
和田	和田	和田	南三原幼稚園遊戯室	89	12	8	20	18	12	3	3	6	30.0%
	南三原			122	20	21	41	72	40	17	15	32	78.0%
合計				1,739	209	242	451	414	240	85	89	174	38.6%

※ゆうひが丘保育園(学童保育)小学生 7人 4歳児 7人 5歳児 2人

7 事業運営費

本市の幼稚園、保育所の平成22年度決算の総支出額は、幼稚園関係費が267,561千円、保育所関係費が542,247千円となっている。

幼稚園、保育所関係の総支出額から、保護者負担金と国県補助金等を差し引いた市の負担額（一般財源）を、公立私立別に園児1人当たりで見ると、公立幼稚園（14園）が522千円、公立保育所（6園）が、1,396千円、私立保育園（4園）が、635千円となっている。保育所については、私立運営と比較して公立運営の方が市の負担額は多くなっている。

8 地域における子育て支援

少子化や核家族化が進む中で、子どもや家庭を取り巻く状況を見ると、身近に話し相手がない、安全な遊び場が少ない、人や自然と関わる経験が少なくなっているなど、地域の子育て力の低下が指摘されている。

このため、南房総市では、在宅児童や保護者を対象に一時保育や園庭開放などの子育て支援策を実施している。

今後においても、親子を温かく受け入れ、安心して気軽に相談できる、地域に開かれた子育て支援の施設として、幼稚園と保育所の役割は大きくなると思われる。

第4章 幼稚園・保育所のあり方

1 「幼・保のあり方」に係る基本的考え方

乳幼児期は、子どもたちが健やかに育ち、人間形成の基礎が培われる重要な時期である。本市における幼稚園・保育所のあり方については、南房総市の子どもたちにとって望ましい就学前の教育・保育の推進を図ることを第一とし、地域におけるニーズや施設の設置状況、児童・園児の入園状況などの視点を踏まえつつ、めざすべき基本方向とその方向を実現するための方策等について定めるものである。

2 めざすべき基本方向

- 乳幼児期に培わなければならない「豊かな心」、「健やかな体」をつくるための適正な規模の子ども集団を確保できる環境整備を行う。
- 幼児教育に精通している幼稚園と、乳幼児の発達段階の保育に精通している保育所が協同することで、子どもの発達を踏まえた一貫性のある、より質の高い教育・保育を行う。その上で、小学校とも十分に連携するように推進する。
- 市内の公立私立を含めた幼稚園及び保育所において、同レベルの質の高い教育・保育が提供できる体制を確保する。
- 地域に開かれた施設運営を図る。
- 効果的・効率的な運営体制を確保する。
- 幼稚園・保育所がこれまで培ってきたことを十分活かす。

3 基本方向を実現するための方策

(1) 幼保一体化（施設・運営）の推進

就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して提供する体制を構築し、幼稚園・保育所の再編整備と併せて、幼児教育・保育・子育て支援を総合的、一体的に支援する「幼保一体化」に取り組む。

- ① 公立幼稚園と近隣の公立保育所を一体運営とした施設を基本とする。私立保育園については現状維持とし、適正な子ども集団確保のための望ましいあり方について理解を求めることとする。ただし、公立幼稚園と隣接・近接している場合は、公立幼稚園と私立保育園を一体化することについて、関係法人の意向にも配慮しつつ調整を図る。

幼保一体施設における生活の流れ

		7:30	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:30	18:00	18:30
0 ～ 2 歳児	登園		登園	保育	おやつ	保育	給食	午睡	おやつ	保育	降園		
	登園	時間外保育									時間外保育	随時降園	
3 歳児	登園		登園	保育	カリキュラムによる活動		給食	午睡	おやつ	保育	降園		
	登園	時間外保育									時間外保育	随時降園	
4 ～ 5 歳児	登園		登園	カリキュラムによる活動		給食	カリキュラムによる活動				降園		
	登園	時間外保育									時間外保育	随時降園	

(2) 一体化及び再編による施設整備

幼稚園・保育所の一体化及び再編により施設整備が必要となる場合は、施設の効率的活用や市の財政状況を踏まえつつ計画的に実施する。

- ① 現有施設の有効利用を基本とし、必要に応じて一部増築または改修を行う。
- ② 耐震性が低い、または老朽化した施設については新築を検討する。

(3) 民間活力の導入

本市では、これまで、私立の保育園が設置され、就学前の教育・保育を担ってきており、今後においてもその役割は十分に期待される。

新たな編成による幼保一体施設の運営主体については、関係法人の意向にも配慮しつつ、公立幼稚園に隣接・近接する私立保育園との連携が可能な場合には、民間活力を有効に活用することとし、公立と私立の園が互いに切磋琢磨することによって、就学前の教育・保育の向上をめざすものとする。

- ① 公立幼稚園と私立保育園で編成する幼保一体施設は、民間に委ねる。

(4) 幼稚園児の学童保育所の利用についての見直し

放課後児童健全育成事業である学童保育は本来、小学校に就学する1年生から3年生までの留守家庭等児童を対象に行う事業であるが、本市では幼稚園児にも拡大して実施してきた。

新しい幼稚園・保育所のあり方を推進するにあたって、これらの実施に併せて学童保育所の運営方法等について見直す。

- ① 幼稚園児については、幼保一体の施設において長時間保育を実施することから、幼保一体の施設を導入する地域については、施設の運営開始に合わせて、学童保育所における幼稚園児の利用は対象外とする。
- ② ①以外の地域の学童保育の在り方については、今後小学校の再編に合わせ検討していく。
- ③ 私立保育所で実施している学童保育は現状維持とする。

(5) 研修体制の確立

市内すべての幼稚園・保育所において、同レベルの質の高い教育・保育を提供できるよう公立私立を含めた幼稚園教諭及び保育士の研修体制を確立する。

4 適正配置の考え方

(1) 小学校区単位での組み合わせ

小学校区は、それぞれの地区における伝統・文化などを通して地区住民との関わりも大きく、また幼稚園・保育所などから小学校への円滑な移行をめざす点からも、適正な規模の子ども集団確保の編成にあたっては、これらを十分考慮する必要がある。

このことから、新たな編成については、小学校区単位で、校区1園以上を配置し基本的に校区を分割しない編成とする。

5 幼稚園・保育所の再編

(1) 再編の概要

「適正配置の考え方」に基づき、市内を小学校区ごとに区分する。各校区における幼稚園・保育所の具体的な再編案については、「基本方向を実現するための方策」や「南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画（平成20年3月南房総市教育委員会）」、地域事情、私立保育園の運営法人への影響などを考慮した。

(2) 再編案

各小学校区の幼稚園・保育所については、現時点において、次の再編案とする。

なお、この再編案は、本市の幼稚園・保育所のあり方として将来において最終的に到達すべきとしたものではなく、今後5年以内の実現をめざす形態を示したものである。

地区別再編プラン

(1) 富浦地区（公立富浦幼稚園・公立富浦保育所）

【再編案】

- ・富浦幼稚園と富浦保育所を対象に幼保一体の運営（幼稚園児の預かり保育を含む）をする。
- ・富浦地区学童保育所
幼保一体の運営開始に合わせ、小学校の校舎内あるいは、敷地内施設での運営をする。

(2) 富山地区（公立富山幼稚園・公立平群保育所・私立白鳩保育園）

【再編案】

- ・富山幼稚園、平群保育所及び白鳩保育園が連携した幼保一体の子育て支援を進める。
- ・富山地区学童保育所
富山小学校の建て替えに合わせ、小学校の校舎あるいは、敷地内施設での運営をする。なお、当面、平群学童保育所は平群幼稚園園舎を活用する。

(3) 三芳地区（公立三芳幼稚園・公立三芳保育所）

【再編案】

- ・三芳幼稚園と三芳保育所を統合した施設を新設し、幼保一体の運営をする。建設する施設に預かり保育の機能を取り入れる。
- ・三芳地区学童保育所
小学生対象の学童保育は現施設（三芳幼稚園敷地内）で現状維持とする。老朽化等により建て替えが必要となったときには、小学校の校舎あるいは、敷地内施設での運営をする。

(4) 白浜地区（公立白浜幼稚園・私立白浜保育園・私立白浜東部保育園）

【再編案】

- ・2園ある私立保育園に対し、本市の就学前児童の教育・保育のあり方について理解を求めるとともに公立幼稚園と私立保育園が連携した幼保一体の子育て支援の在り方について調整を図っていく。
- ・白浜地区学童保育所
私立保育園で実施している学童保育は現状維持とする。

- (5) 千倉地区（公立七浦幼稚園・公立忽戸幼稚園・公立朝夷幼稚園・
公立健田幼稚園・公立ちくら保育所・私立ゆうひが丘保育園）

【再編案】

- ・七浦幼稚園・忽戸幼稚園・朝夷幼稚園・健田幼稚園を再編する。
- ・千倉預かり保育室は健田幼稚園との一体化を推進する。
- ・ちくら保育所とゆうひが丘保育園は現状維持とする。

・千倉地区学童保育所

小学校再編に合わせ、小学校の校舎内あるいは、敷地内施設での運営をする。また、ゆうひが丘保育園での学童保育実施も視野に入れ、当該保育園と協議する。

- (6) 丸山地区（公立南幼稚園・公立丸幼稚園・公立丸山保育所）

【再編案】

- ・南幼稚園、丸幼稚園と丸山保育所を対象に幼保一体の運営（幼稚園児の預かり保育を含む）をする。小学校の再編に合わせて両幼稚園の再編を行う。

・丸山地区学童保育所

小学校再編に合わせ、小学校の校舎内あるいは、敷地内施設での運営をする。

- (7) 和田地区（公立和田幼稚園・公立南三原幼稚園・公立和田保育所）

【再編案】

- ・和田幼稚園、南三原幼稚園と和田保育所を対象に幼保一体の運営（幼稚園児の預かり保育を含む）をする。小学校の再編に合わせて両幼稚園の再編を行う。

・和田地区学童保育所

小学校再編に合わせ、小学校の校舎内あるいは、敷地内施設での運営をする。

6 幼稚園・保育所の再編案具体化の年次計画

幼稚園・保育所の再編案の具体化に向けては、平成23年度から平成27年度の間において、段階的に実施することとする。

市内幼稚園・保育所再編(幼・保一体化)スケジュール(案)

施設	施設整備	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
富浦地区 公立富浦幼稚園 公立富浦保育所		幼・保一体 運営検討	幼・保一体 運営開始			
富山地区 公立富山幼稚園 公立平群保育所 私立白鳩保育園		地元保育園協議	幼・保一体 運営検討開始			
三芳地区 公立三芳幼稚園 公立三芳保育所	新設	幼・保一体 運営検討	幼・保一体 運営開始 設計・調査	施設建設	統合開園 旧施設解体	
丸山地区 公立南幼稚園 公立丸幼稚園 公立丸山保育所		幼・保一体 運営検討	→	幼・保一体 運営開始		
和田地区 公立和田幼稚園 公立南三原幼稚園 公立和田保育所		幼・保一体 運営検討	→	幼・保一体 運営開始		

※ 千倉地区については、小学校・幼稚園再編の状況に合わせて検討する。

※ 白浜地区については、現状維持とする。